

平成28年度 公共事業再評価調査

1. 再評価調査

(区分) **国補**・県単

事業名	急傾斜地崩壊対策事業【急傾斜地崩壊対策事業(国補)】		事業箇所	荏崎市水神一丁目～二丁目、荏崎市富士見ヶ丘1丁目～二丁目、荏崎市本町1丁目、荏崎市中央町	地区名	七里岩	事業主体	山梨県
	当初計画	現計画	今回見直し予定	⑤再評価時の評価状況 なし。				
計画期間	H18年度～H26年度	H18年度～H29年度	H18年度～H38年度	(2) 評価項目【事業を巡る社会経済情勢等の変化】 (今回の再評価で変更がある場合、変更事項を説明するために必要な内容)				
総事業費	900	-	1,424	①地域・住民の意向状況 ・過去にアパートが全壊するなどの被害が発生し、近年も頻繁に小規模な崩落や落石が発生しているため、住民の防災意識が高く、早期対策の要望は強まっている。 ・対策工法の選定においては、安全かつ景観に配慮した工法が望まれている。				
(1) 事業の概要				②産業・経済情勢 なし。				
①事業目的及び効果 本地区は昭和45年～54年にかけて、急傾斜地崩壊危険区域に指定されており、斜面の傾斜度は60～90度、斜面の高さは30～60mで、斜面直下には人家が連担している。当該地区は昭和42年以降、急傾斜地崩壊対策として擁壁および落石防護柵等を施工したが、平成14年7月には泥流状に土砂が流出し県道が一時通行止め、H16年には崩壊土砂が防護柵を超えてアパートが被災、県道にも流出するなど、対策施設が十分には機能していない状況であった。このような状況を受け、かけ崩れ対策として急傾斜地崩壊防止施設の整備を行うものである。				③国等の方針変更 なし。				
②事業概要 吹付法砕工 A=11,000m <sup>2</sup>				④上位計画・関連事業計画等の変更 「ダイナミックやまなし総合計画」(平成27年12月策定) 「山梨県強靱化計画」(平成27年12月策定) 「山梨県社会資本整備重点計画-第三次-」(平成27年12月策定)				
③現計画の全体計画(今回の再評価で変更する前の内容)				⑤自然環境条件等の変化 近年、局地的な集中豪雨が頻発しており、土砂災害の危険性が一層高まっている。				
	平成27年度まで	平成28年度 (評価実施年度)	平成29年度以降	⑥その他 平成23年3月、土砂災害防止法に基づき地区全体を「土砂災害警戒区域」に、地区の一部を「土砂災害特別警戒区域」に設定した。				
工事内容	測量・地質調査 設計・用地調査 用地補償 現場吹付法砕工 A=8,000m <sup>2</sup> 落石防護柵工 L=300m	測量・設計 用地調査・用地補償 現場吹付法砕工 A=500m <sup>2</sup>	測量・設計 用地調査・用地補償 現場吹付法砕工 A=500m <sup>2</sup>					
事業費	692百万円	104百万円	104百万円	(3) 評価項目【再評価時点の費用対効果分析】				
④特記事項 ・H14年7月泥流状に土砂流出(エリア10, 11)。県道が一時通行止め。 ・H16年10月台風23号に伴い崩壊が発生(エリア7)し、アパート1棟が全壊。崩土は県道にも流出。 ・H21年6月に沢状地形上部で崩壊が発生(エリア9)し、崩積土は水路内に堆積。民家県道は被災せず。 ・以降も、民家や県道等に被害はないものの、未対策箇所でも小規模な土砂崩落や落石が発生している。				<ul style="list-style-type: none"> <li>事業採択時計画における事業全体B/C(平成18年度) 便益(B)/費用(C)=6,160百万円/773百万円=7.97&gt;1.5</li> <li>再評価時計画における事業全体B/C(平成28年度) 便益(B)/費用(C)=6,357百万円/1,580百万円=4.02&gt;1.5</li> </ul> <p>急傾斜地崩壊対策事業の費用便益分析マニュアル(案)H11年8月、建設省砂防部により算出、採択基準1.5以上</p>				

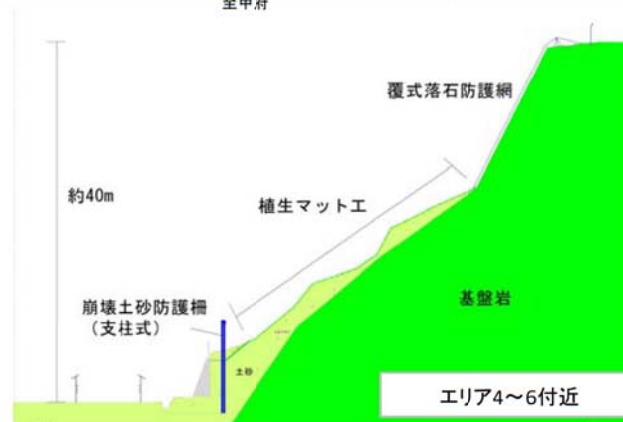
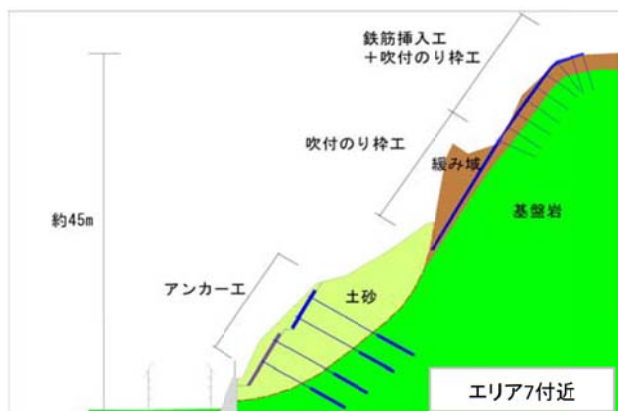
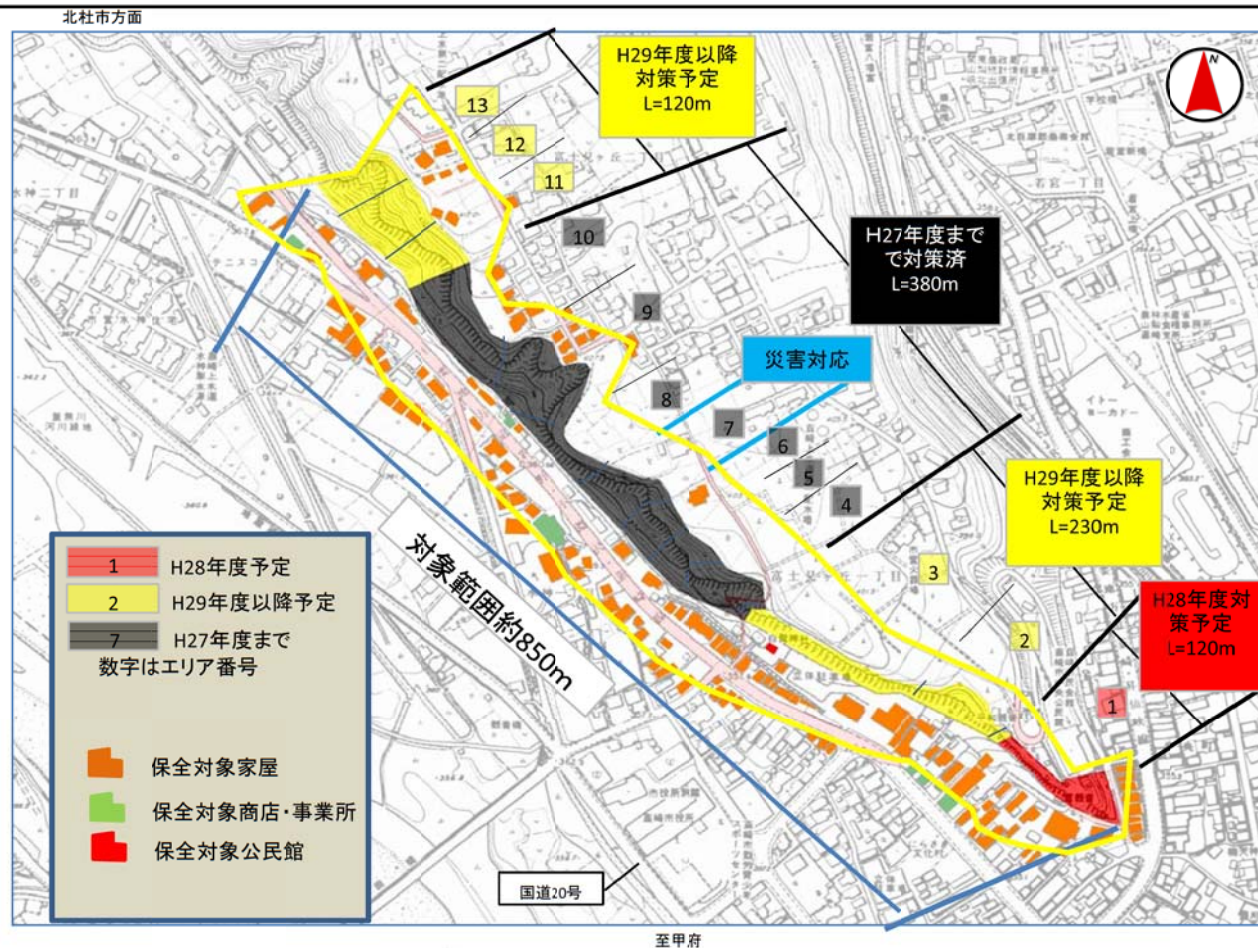
## 2. 再評価調書

(4) 評価項目 [事業の進捗状況及び見込み]		(5) 評価項目 [環境への配慮]																																																																													
<p>①これまでの計画変更等の概要</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>優先度の高いエリアについて詳細な調査設計を実施し、一部工法の変更を行った。</li> <li>計画区間のほぼ全域で対策斜面の前面に人家等が連担しており、作業ヤードに限りがあったことから、施工が非効率であった。このことから、進捗に遅れが生じ、計画期間を3年延長した（平成23年度）。</li> </ul> <p>②施行済みの事業内容（（1）③「全体計画」に記載した内容と比較）</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>現計画 平成27年度まで</th> <th>実施 平成27年度まで</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>工事内容</td> <td>測量・地質調査・設計・用地調査 用地補償 現場吹付法砕工A=8,000㎡ 落石防護柵工L=300m</td> <td>測量・地質調査・設計 用地調査・用地補償 現場吹付法砕工A=833㎡ 落石防護柵工L=122m 崩壊土砂防護柵工L=174m 落石防止網工A=3040m<sup>2</sup></td> </tr> </tbody> </table> <p>③進捗率（現計画に対する実績）</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>平成18年度</th> <th>平成19年度</th> <th>平成20年度</th> <th>平成21年度</th> <th>平成22年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>計 画</td> <td>8%</td> <td>14%</td> <td>19%</td> <td>25%</td> <td>29%</td> </tr> <tr> <td>実 績</td> <td>8%</td> <td>14%</td> <td>19%</td> <td>25%</td> <td>29%</td> </tr> </tbody> </table> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>平成23年度</th> <th>平成24年度</th> <th>平成25年度</th> <th>平成26年度</th> <th>平成27年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>計 画</td> <td>33%</td> <td>39%</td> <td>44%</td> <td>50%</td> <td>58%</td> </tr> <tr> <td>実 績</td> <td>33%</td> <td>38%</td> <td>42%</td> <td>46%</td> <td>50%</td> </tr> </tbody> </table> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>平成28年度</th> <th>平成29年度</th> <th>算出方法</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>計 画</td> <td>75%</td> <td>100%</td> <td>計画整備エリア/総整備エリア×100</td> </tr> <tr> <td>実 績</td> <td>53%</td> <td></td> <td>実施整備エリア/総整備エリア×100</td> </tr> </tbody> </table> <p>H28の実績は見込み</p> <p>④事業の進捗が順調でない理由 地質調査の結果、一部工法の変更により、当初計画以上に事業費が増加し進捗が遅れた。</p>			現計画 平成27年度まで	実施 平成27年度まで	工事内容	測量・地質調査・設計・用地調査 用地補償 現場吹付法砕工A=8,000㎡ 落石防護柵工L=300m	測量・地質調査・設計 用地調査・用地補償 現場吹付法砕工A=833㎡ 落石防護柵工L=122m 崩壊土砂防護柵工L=174m 落石防止網工A=3040m <sup>2</sup>		平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	計 画	8%	14%	19%	25%	29%	実 績	8%	14%	19%	25%	29%		平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	計 画	33%	39%	44%	50%	58%	実 績	33%	38%	42%	46%	50%		平成28年度	平成29年度	算出方法	計 画	75%	100%	計画整備エリア/総整備エリア×100	実 績	53%		実施整備エリア/総整備エリア×100	<p>⑤今後の事業執行上の問題点</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>施行済箇所について当初計画以上に事業費がかかったこと、また未対策箇所については斜面浸食の進行及び土砂崩落・落石の頻発を考慮し、工法変更が必要と想定されることから、総事業費の増加が見込まれる。</li> <li>韮崎市が平成25年度に策定した景観計画において、本事業箇所の景観を配慮した対策が強く求められている。地元住民の要望も強い。</li> <li>市の財政上、地元負担金の捻出に限りがあり、工事の進捗に限界がある。</li> </ul> <p>⑥今後の事業の進捗の見込み（計画期間について記載）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>未対策箇所については、作業ヤードが狭く施工性が悪いため、毎年実施可能な工事の規模が限られ、市の財政状況も考慮した場合、毎年発注可能な工事の規模は5千万円程度と想定される。</li> <li>残事業費を勘案すると事業期間はさらに9年必要となり、平成38年度が完成予定となる。</li> </ul> <p>⑦事業計画の変更の見込み・可能性（総事業費について記載）</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>主な増減項目</th> <th>当初計画</th> <th>事業費の概算増減（百万円）</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>吹付法砕工</td> <td>全体</td> <td>-866</td> </tr> <tr> <td>重力式擁壁工</td> <td>無し</td> <td>70</td> </tr> <tr> <td>排土工・落石防護網工</td> <td>無し</td> <td>530</td> </tr> <tr> <td>崩壊土砂防護柵工</td> <td>無し</td> <td>250</td> </tr> <tr> <td>アンカー工・切土補強土</td> <td>無し</td> <td>540</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>-</td> <td>524</td> </tr> </tbody> </table> <p>(5) 評価項目 [環境への配慮] のり枠内の緑化、のり枠工同様の機能を有する長繊維補強土工の採用による表面緑化などを実施し、景観に配慮している。また、市の景観計画を踏まえ、今後も景観に配慮した対策を計画する。</p> <p>(6) 評価項目 [コスト削減の可能性] 新技術(NETIS登録技術)の採用も考慮した入念な対策工法の選定によりコスト削減を図る。</p> <p>(7) 評価項目 [代替案立案の可能性] なし</p> <p>(8) 所管部の今後の方針 <b>継続・見直し継続</b>・その他( )</p> <p>(理由) 市街地を形成する重要な地域(保全家屋数128戸、商店・事業所7戸)であることから、期間を9年延長し、総事業費を524百万円増額して、平成38年度の完成を目指す。</p>			主な増減項目	当初計画	事業費の概算増減（百万円）	吹付法砕工	全体	-866	重力式擁壁工	無し	70	排土工・落石防護網工	無し	530	崩壊土砂防護柵工	無し	250	アンカー工・切土補強土	無し	540	合計	-	524
	現計画 平成27年度まで	実施 平成27年度まで																																																																													
工事内容	測量・地質調査・設計・用地調査 用地補償 現場吹付法砕工A=8,000㎡ 落石防護柵工L=300m	測量・地質調査・設計 用地調査・用地補償 現場吹付法砕工A=833㎡ 落石防護柵工L=122m 崩壊土砂防護柵工L=174m 落石防止網工A=3040m <sup>2</sup>																																																																													
	平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度																																																																										
計 画	8%	14%	19%	25%	29%																																																																										
実 績	8%	14%	19%	25%	29%																																																																										
	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度																																																																										
計 画	33%	39%	44%	50%	58%																																																																										
実 績	33%	38%	42%	46%	50%																																																																										
	平成28年度	平成29年度	算出方法																																																																												
計 画	75%	100%	計画整備エリア/総整備エリア×100																																																																												
実 績	53%		実施整備エリア/総整備エリア×100																																																																												
主な増減項目	当初計画	事業費の概算増減（百万円）																																																																													
吹付法砕工	全体	-866																																																																													
重力式擁壁工	無し	70																																																																													
排土工・落石防護網工	無し	530																																																																													
崩壊土砂防護柵工	無し	250																																																																													
アンカー工・切土補強土	無し	540																																																																													
合計	-	524																																																																													



### 3. 添付資料シート（1）

省略



対策工概要：代表的な断面







年度別事業費内訳表（今回変更後の内容）

年度	見直し後事業費（千円）	事業概要	進捗率
H18	136,000	測量・調査・設計 吹付法砕工A=607m <sup>2</sup> 落石防護柵工L=65m	10%
H19	95,000	測量・調査・設計 吹付法砕工A=226m <sup>2</sup> 落石防護柵工L=57m	16%
H20	83,000	調査 切土工V=4440m <sup>3</sup> 落石防止網工A=1240m <sup>2</sup>	22%
H21	88,000	測量・調査・設計 切土工V=3000m <sup>3</sup>	28%
H22	45,000	切土工V=1500m <sup>3</sup>	31%
H23	108,000	切土工V=7200m <sup>3</sup>	39%
H24	71,000	切土工V=960m <sup>3</sup> 落石防止網工A=1800m <sup>2</sup>	44%
H25	49,000	崩壊土砂防護柵工L=24m	47%
H26	158,000	調査・設計 崩壊土砂防護柵工L=108m	58%
H27	41,000	崩壊土砂防護柵工L=42m	61%
H28	50,000	吹付工A=1200m <sup>2</sup> 鉄筋挿入工N=270本	65%
H29	50,000	測量・調査・設計 吹付工A=1000m <sup>2</sup> 鉄筋挿入工N=210本	68%
H30	50,000	吹付工A=600m <sup>2</sup> 鉄筋挿入工N=150本	72%
H31	50,000	切土補強土工500m <sup>2</sup>	75%
H32	50,000	測量・調査・設計 切土補強土工500m <sup>2</sup>	79%
H33	50,000	覆式落石防護網工500m <sup>2</sup> グラウンドアンカー工（受圧板工）30基	82%
H34	50,000	覆式落石防護網工500m <sup>2</sup> グラウンドアンカー工（受圧板工）30基	86%
H35	50,000	覆式落石防護網工500m <sup>2</sup> グラウンドアンカー工（受圧板工）30基	89%
H36	50,000	覆式落石防護網工500m <sup>2</sup> グラウンドアンカー工（受圧板工）30基	93%
H37	50,000	覆式落石防護網工400m <sup>2</sup> グラウンドアンカー工（受圧板工）23基	96%
H38	50,000	落石防護柵工L=10m 排土工3000m <sup>3</sup>	100%
合計	1,424,000		